



第 1279 回例会報告

平成 24年7月26日(木) 晴

【8 月は会員増強月間】

会長挨拶

会長 蒲地整志

予算ルール

今国会で消費税の増税論議がなされています。
 アメリカでは、大災害の復興等をはじめ国の義務的支出は、赤字を財源とせず、新たな借金はせずに、他の支出のカットか増税により賄わなければならない。というのが基本的な考え方であるそうです。それでも、財政赤字は非常に大きいようです。

対して日本では、個別+個別+個別+個別+…の積み重ねが総額という仕組みになっており、長い間そのようにやって来たと思いますが、やはり総額を決めてから個別に振り分けるべきであると考えます。

基本的には、国の財政も家庭の財布と同じではないでしょうか？

ギリシャ、スペイン、イタリアの次は日本だという人もいます。

確かに、巨大な財政赤字は待ったなしの状況です。皆さんはいかがお考えでしょうか？

ロータリークラブの予算はかなりアバウトですが、会計監査を長年やらせて頂きました私としては、予算イコール決算にする必要はないと考えます。

それよりも、何をやったか。事業の監査・検証の方が大切なのではないのでしょうか。

◇幹事報告◇

【報告事項】

7/26理事会報告

- 1) 決算報告が理事会で承認されました
- 2) 8月例会予定
- 02日 総会・「決算報告」 【会長・幹事】
- 09日 家族納涼例会 【クラブ奉仕委員会】
- 16日 休会
- 23日 三井章義パストガバナー卓話例会 【クラブ会報・広報委員会】
- 30日 「里山整備事業」について 会奉仕委員会
- 9月6日 「ローターアクト」会員による卓話 【新世代奉仕委員会】

3) 地区大会の開催通知及び、地区大会におけるパネル発表依頼がありました。

4) RYLA参加について

5) ユニセフの寄付は行わない

【連絡事項】

- 1. 8月ロータリーレートは¥80/\$
- 2. ロータリー財団・米山奨学地区研修セミナー開催の連絡
- 3. 2011-2012年ロータリー財団の最終寄付者リスト

■ニコニコ BOX

25名	25,000円
累計	125,000円
目標額	130万円
達成率	9.6%

■出席報告

会員数	36名
出席対象	36名
出席者数	29名
出席率	80.5%
前回修正	72.2%

■今週のこぼ

昨日下午諏訪中学校で、フィリピンマクタン小学校との第2回目のインターネット通信がありました

溝口幸二

■次回のプログラム

8月9日

納涼家族例会

ライフプラザマリオ

6:00点鐘



が届きました。

2600	Suwako	Kenji Nishizawa	M	1
2600	Suwako	Takao Hirayama	M	2
2600	Suwako	Dr. Koji Mizoguchi	M	7
2600	Suwako	Yoshinori Watanabe	MD 1	
2600	Suwako	Takahiro Komatsu	MD 1	

第 1279 回例会

セブ島の子供達に音楽学習を!報告

国際奉仕委員会

国際奉仕委員会のセブ支援活動、題して『セブ島の子供達に音楽学習を!!そして日本の子供達との国際交流プロジェクト』が6月15日～20日に行われました。

参加メンバーは小松、高林、渡辺の三夫妻、長崎、林、西澤、溝口の10名です。

今回訪比の主目的は、前回鍵盤ハーモニカの演奏指導をしたマクタン小学校に、約束の300台を届けること、そしてこの学校の生徒と下諏訪中学校の生徒がスカイプで映像を通して会話する実験的な試みをする事でした。しかし今年になって、グアダルペRCから、セブ本島のグアダルペ小学校で同様の音楽学習を行いたいというリクエストが来て、企画書の提出を求めたところ、予想以上の綿密な企画書が届きました。16日に長崎、西澤、林会員が学校を訪れて話し合った結果、この小学校にも100台の鍵盤ハーモニカを贈呈することになりました。

17日、日曜日の夜は、マクタン小学校の先生たち、グアダルペRC 会員、西澤工業のマネージャーのウイナ、ペリー、アラセリ、顧問弁護士のダニロたちを招待して懇親大宴会が行われました。はじめのうちはお互い会話も弾みませんでした。長崎会員の発案、渡辺夫人の踊りをきっかけに、歌えや踊れの大宴会となり大いに親睦を深めることが出来ました。

18日午前は、マクタン小学校に鍵盤ハーモニカを搬入し、インターネットの準備を行い、午後は100台の鍵盤ハーモニカを持参してグアダルペ小学校に向かいました。校門を入ると、炎天下、ガールスカウトの制服を着た女の子たちが、歓迎の幕を掲げて出迎えてくれました。校長室で贈呈目録に署名してから、案内されて講堂に行くと、300人以上の子供達が、拍手で迎えてくれました。今までこんな大歓迎を受けたことの無い私たちには、テレながらも大感激の贈呈式となりました。

翌19日午前は、マクタン小学校で、前回持参した61台を含め、計300台の鍵盤ハーモニカの贈呈式です。この学校には講堂が無く、式は校庭でやることになりました。式典にはラプラプ市の教育長も出席され、前日に優る盛大な贈呈式となりました。そこで披露された鍵盤

ハーモニカによるフィリピン国歌の合奏は、わずか半年の練習とは思えない見事なものでした。

そのあとも先生(女性)たちの踊り、女生徒の民族舞踊、鼓笛隊のパフォーマンスなどが披露され、時の経つのも忘れるほどでした。

午後は、西澤会員と彼のセブ工場のスタッフが、前日から苦心して教室に設置してくれたPC で、下諏訪中学校とのスカイプによる交信が始まりました。三村会長の顔がスクリーンの大画面に映った時には、一同思わず歓声を上げました。

新任のアナリダ校長と三村会長の挨拶にはじまり、次に下中の登内校長が登場。この頃から回線が不調で画像、音声は乱れましたが、それでも登内校長の「笑ってお見合いしてるばかりだ!!ハハ!!」という音声は届いていました。

次に子供たちの交信に移りましたが、途切れ途切れでなかなかうまく行きません。画像は届くが音声の不調。西澤会員の提案でキーボードを使って筆談することになり、それで結構生徒同士の会話が続き、アツという間に予定の40分が過ぎてしまい、最後に次回7月25日交信の約束して、初めての国際インターネット交流を終えました。

残された最後の予定は、マクタン島のハイスクール見学です。訪問したのは、マクタン島唯一の公立高等学校であるMactan National High School。この学校には約4700人もの生徒がいて、一クラス70名なのだそうです。

最初にコンピューター室、次に裏の狭い校庭での体育授業、英語の授業、数学の授業等を参観しました。音楽授業の有無、楽器の有無をたずねたところ、ほとんどなされていない口ぶりで、ギターが2本あるだけだということでした。しかし校長は音楽学習の必要性について言及されたので、鍵盤ハーモニカを10台ほど届けるから、使えるか試してほしいと提案し、英語版の“セブ島の子供たちに音楽を”プロジェクト資料を渡し、理解を求めました。後日、マクタン小の前任校長プルタルコ先生の新任先のイボ小学校にも、150台の鍵盤ハーモニカを寄贈しました。

2011年6月、26期赤羽委員長が北原会員を介して、城北小から頂いた5台の鍵盤ハーモニカの一台が、マクタン小の音楽教育のきっかけとなりました。あれから1年、セブ島に渡った鍵盤ハーモニカは550台余となります。これを使って音楽教育に取り組む小学校も3校に増えました。高校でも取り組んでくれるかもしれません。今後このプロジェクトがどのように進展してゆくのか楽しみではありますが、責任の重大なことも感じています。

どうか諏訪湖RCの全員にこのプロジェクトをご理解いただき、一層のご協力をお願い致します。